



進路指導部だよりは、進路決定の手助けになればと考え、生徒や保護者の方に向けて発行します。ご活用下さい。

今回の発行内容は、以下の通りです。

進路決定の途中経過

進学：指定校推薦について

大学・短大では水戸の常磐大学や千葉県の千葉工業大学や川村学園女子大学、埼玉の日本薬科大学を含め5つの大学が新たに増え、68大学255名(+制限なし)の枠があります。さらに高い評定平均で、入学金や授業料の半額免除など金銭的に有利な大学も数多くあります。また、地域を選ばなければ、薬学部や看護学部など医療系の大学、関東近郊でも、文系・理系と幅広い学部の選択が可能です。

現在

進学希望者では、推薦入試やAO入試を含めて、64名の生徒が合格を得ています。具体的な大学では、国立大学の筑波大学1名を始め、私立大学18名で大東文化大学や千葉商科大学流通経済大学(6名)、つくば国際大学(医療保健学部2名)、筑波学院大学、京都文教大学、京都精華大学など。短期大学は、つくば国際短期大学(6名)です。専門学校は30名で、アール医療福祉専門学校看護学科を始め、筑波研究学園専門学校(5名)や茨城県農業大学校・日本自動車大学校・東京デザイナー学院など関東地方の各地に合格を決めています。

就職：求人票について

今年度は、3月の東日本大震災の影響で、大幅な求人減が予想される中、届いた求人票は270社と、昨年と余り変わりはないですが、今年は求人票が出せないという企業も数社、新たに求人票を頂いた企業も数社ありました。さらに、普段よりも数ヶ月遅れて求人票を頂いた企業、最近の円高で取りやめた企業もあり、高校3年生にとっては、就職するのに非常に難しく厳しい年となりました。また不断の努力の結果、公務員試験に合格が出ました。茨城県職員1名と稲敷市職員1名です。そして、自衛隊二等陸士の試験でも合格しました。農家の後継者として農業を仕事に選んだ1名もいます

現在

就職希望者は、内定を頂いたのが、60名(12月13日現在)です。具体的な企業名として、住友金属鹿島・ネスレ日本(2名)・DNPデータテクノ・ファンケル美健・紀文食品・日本薬品工業・フジシール・ダイフレックス・タイヨー(2名)・雪村・JSS(成田空港関係)などです。

進路指導部進学担当より一言:木内先生より

「進易就難」私の造語ですが、18歳人口減少とここ数年の不況が、高校3年生にもたらした現象でとても進学し易いが、就職では学力の高い一部の高校生のみ内定をもらえる、という結果です。

特に今年度は就職希望者にとって厳しい年になりました。前号で仁林先生も書かれたとおり、1企業当たりの採用人数の減少が、基礎学力の低い高校生に不利な現状となっています。

それと比較して、進学希望の場合は、一部の私立大学と国公立大学を除けば、合格を得るのがかなり易い結果になっています。さらに、評定平均の高い生徒にとっては、合格はもちろんのこと学費の一部免除の特典を手にすることができます。

結局、高校時代に真面目に学習して、こつこつ成績を稼いだ生徒は、それ以上の結果を得られることとなります。つまり、**{努力した人の勝ち}**ですね。